

# オール塩竈で子どもを育む 塩竈市地域学校協働活動推進事業運営協議会

市町村名		推進組織名			関係学校名						
塩竈市		塩竈市地域学校協働活動推進事業 運営協議会 (塩竈市地域学校協働本部)			第一小学校ほか 市内11校						
		設立年度	教育委員会・担当課		関係学校学級数	児童生徒数					
		H30	塩竈市教育委員会生涯学習課		149学級	3,612人					
統括的な地域学校協働活動推進員数		統括的なコーディネーター数		地域学校協働活動推進員数	コーディネーター数	地域連携担当数	登録ボランティア数				
0人		1人 (わくわく遊び隊専属)		1人	21人 (わくわく遊び隊専属)	11人	55人				
活動目標 家庭・地域・学校が相互に連携し、地域全体で子どもを育てる体制の整備を図る											
【連絡先】				所在地		電話番号	FAX番号				
				〒985-0052 宮城県塩竈市本町1-1(壺番館庁舎3階)		022-362-2556	022-365-3347				
協力企業・団体・大学・NPO等				E-mail		e_educity@city.shiogama.miyagi.jp					
塩釜市体育協会, 合同会社顔晴れ塩竈, 家庭教育支援チーム「ゑん」 子ども・宇宙・未来の会, 塩竈神楽保存会ほか 計24団体				URL							
〇〇市町村の概要											
人口	54,522人	割合	65歳以上	32.8%	面積	17.37km <sup>2</sup>	学校数	幼・保・こ	16園	産業等	水産業, 加工業, 観光
			15~64歳	56.7%				小学校	7校		
			0~14歳	10.3%				中学校	5校		

## これまでの経過

- ・平成15年度より出前講座にて学校支援がスタート
- ・平成18年度より教育フェスティバルがスタート
- ・平成19年度より家庭教育支援総合推進事業がスタート。
- ・平成28年6月放課後の活動として玉川小学校でわくわく遊び隊開始
- ・平成29年11月わくわく遊び隊を市内6校に拡大
- ・平成30年2月にそれぞれの事業の連携・協働を図っていくために塩竈市地域学校協働活動推進事業運営協議会を地域学校協働本部とする。

## 地域学校協働活動

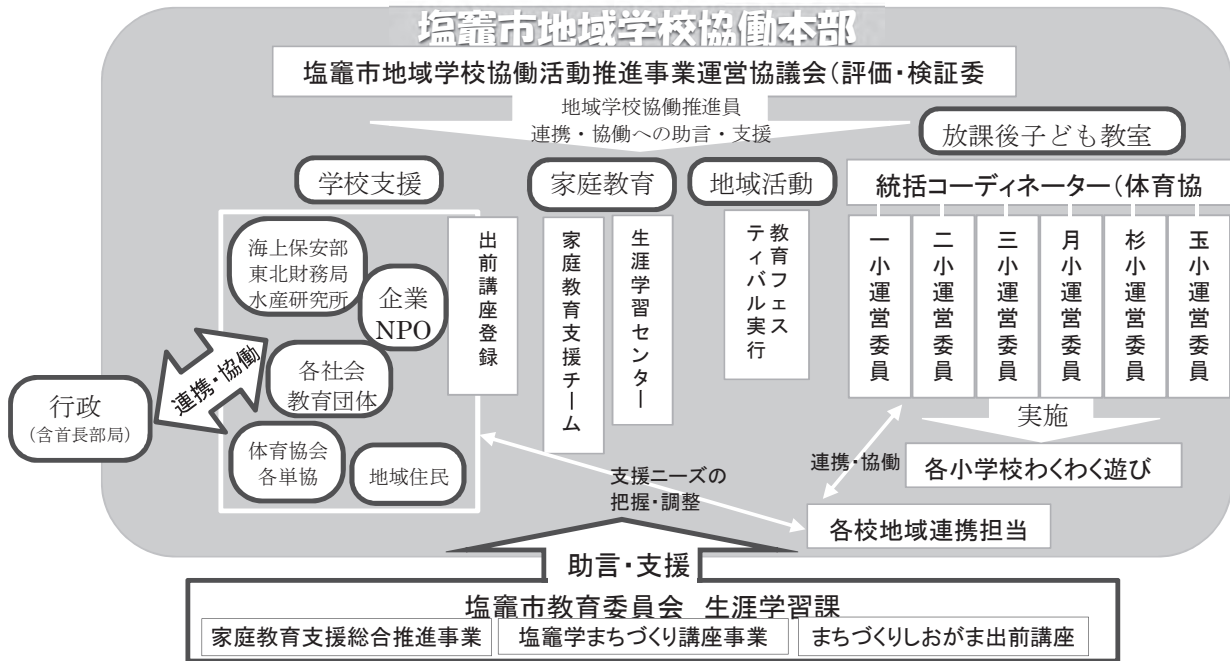
●学校支援活動	●家庭教育支援活動	●地域活動	●放課後子ども教室
学習支援活動, 地域理解, 職場体験・キャリア教育, 部活動指導, 食育, 消費者教育, その他	KU-MA宇宙の学校, おやこdeキッチン, 中高生保育体験, 家庭教育支援チームによる「親のまなびのプログラム」	教育フェスティバル, しおがま“何でも”体感団	わくわく遊び隊(市内6校)(運動要素を取り入れたレクリエーション活動) 一小(34人), 二小(35人) 三小(37人), 月小(42人) 杉小(46人), 玉小(69人)

## 工夫している点

- ・地域, 家庭, 学校の三者でわくわく遊び隊の運営委員会を組織することで, 密な連携を図ることができるようにしている。
- ・学校教育関連, 生涯学習関連の取組を知ってもらおう場である教育フェスティバルにそれぞれの活動も参加し, 活動内容などを広く市民に周知している。

## 行政の支援や取組

- ・塩竈市地域学校協働本部への支援  
生涯学習課で実施している家庭教育支援総合推進事業, 塩竈学まちづくり講座事業, まちづくりしおがま出前講座と関連付けながらの支援。
- ・地域学校協働活動推進員の委嘱と社会教育主事の助言  
地域学校協働活動推進員を委嘱し, 社会教育主事と連携して全体をコーディネートすることで各校の活動内容に大きな差が出ないようにしている。



特色ある活動事例

・わくわく遊び隊【放課後子ども教室】

放課後の子供たちの安心・安全な居場所をつくとともに、基本的な運動要素を取り入れたレクリエーション等を通し、体力・運動能力の基盤形成を図ることを目的に行っている活動である。地域のスポーツの専門家が指導をしているので、子供たちの体力も向上してきている。また、PTAや社会教育団体など多くの地域住民が指導支援員や見守り隊として安全管理などで活動を支えている。



校長先生も活動に参加しています

・教育フェスティバル【地域活動】

本事業は「みやぎ教育の日」（11月1日）に因んで、「ともに学びともに創ろう 笑顔輝くまち 塩竈」のテーマのもと、平成18年度から実施しており、今年度の開催で第12回目になる。塩竈市の学校教育や生涯学習の取組と、幼児から高校生の子供たちの活動の様子を展示やステージ発表で紹介し、家庭・地域社会・学校の連携の必要性について理解と啓発を図ることを目的として開催している。



教育フェスティバルでの発表

活動の成果

- ・平成29年度には、5校で12回のべ455人の児童生徒が出前講座を受講し、福祉や地域文化について学んだ。
- ・家庭教育支援チームが立ち上がり、親の学びのプログラム『親のみちしるべ』などで家庭教育支援を行うようになった。また、わくわく遊び隊への支援など活動の幅も広げている。
- ・平成30年度に6校すべてにPTAを中心としたわくわく遊び隊運営委員会が立ち上がり、地域住民が主体的に活動を運営できるような環境を整えることができた。

今後の活動に向けて

- ・地域・家庭・学校の三者がわくわく遊び隊の運営委員会を立ち上げたことで、多くの地域住民が地域学校協働活動に参加するようになった。今後は、その組織を中心として、地域学校協働活動を推進していきたい。
- ・地域学校協働本部が立ち上がったばかりなので、地域学校協働推進員と社会教育主事の連携の在り方や地域学校協働活動に参加している団体同士の連携をの在り方を探りながら地域学校協働活動を充実させていこうと考えている。

# 子供と住民が共に育つ地域づくり（準備中）

市町村名		推進組織名			関係学校名						
名取市		-			-						
		設立年度	教育委員会・担当課		関係学校学級数	児童生徒数					
		H31予定	名取市教育委員会・生涯学習課		-	-					
統括的な地域学校協働活動推進員数		統括的なコーディネーター数	地域学校協働活動推進員数	コーディネーター数	地域連携担当数	登録ボランティア数					
-		-	-	-	-	-					
活動目標		-									
【連絡先】		所在地			電話番号	FAX番号					
		〒981-1292 名取市増田字柳田80			022-724-7173	022-384-9690					
協力企業・団体・大学・NPO等				E-mail	syogaku@city.natori.miyagi.jp						
地域住民, 自治会, PTA・保護者, 社会教育団体 警察・消防, 福祉機関, 企業・団体				URL	<a href="http://www.city.natori.miyagi.jp/">http://www.city.natori.miyagi.jp/</a>						
名取市の概要											
人口	約79000人	割合	65歳以上	22.0%	面積	98.17km <sup>2</sup>	学校数	小学校	10校	産業等	農業 カーネーション・セリなど 水産加工業 赤貝・シラスなど
			15～64歳	62.6%				中学校	4校		
			0～14歳	15.4%				義務教育学校	1校		

## これまでの経過

- ・もともと市内には、各小学校区に公民館1館が設置されており、地域の核となっていた。
- ・平成30年度名取市教育課題検討委員会での、地域学校協働本部の設置に向けた話し合いを皮切りに市教育委員会や市長部局などで具体的な検討が重ねられた。
- ・平成31年度に市教育委員会がモデル学校区を指定し、地域学校協働本部を6学校区に設置予定。その後検証・改善を行い、平成33年度までの3年計画で、全ての市立学校区に地域学校協働本部の組織化をめざす。

## 地域学校協働活動

●学校支援活動	●家庭教育支援活動	●地域活動	●放課後子ども教室
(予想される内容) ・安全見守り ・学習支援活動 ・環境整備	(予想される内容) ・家庭教育講座 ・子育てサロン	(予想される内容) ・地域に関する学習 ・インリーダ研修会 ・地域環境整備 ・防災・減災活動	(予想される内容) ・学習支援活動 ・遊び場の提供 ・年中行事

## 工夫している点

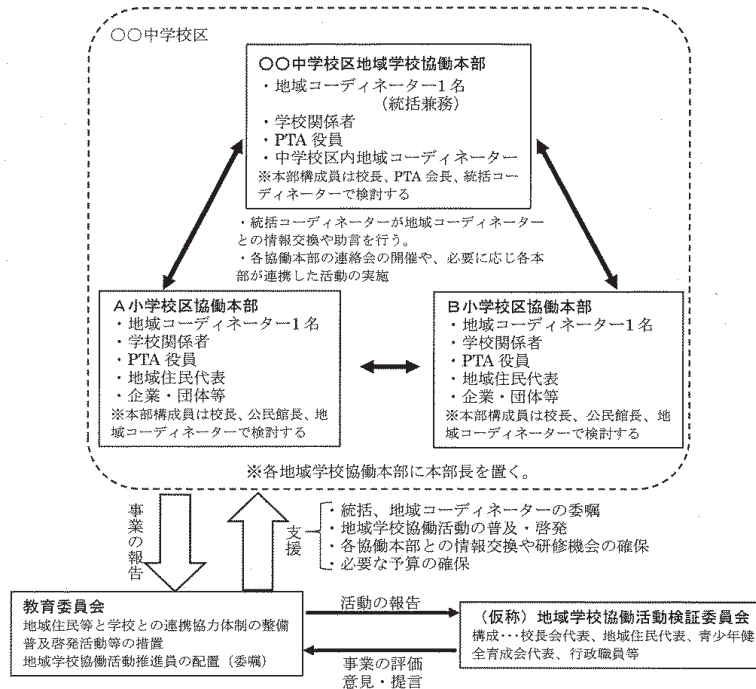
- ・各地域学校協働本部が主体的に活動し、地域性を生かした計画の立案や運営を行う。
- ・各学校区にコーディネーター1名を配置。そのうえで中学校区単位を基本としたネットワークを構築し、コーディネーター同士の連携を図る。

## 行政の支援や取組

- ・地域学校協働活動推進員やコーディネーターの委嘱。
- ・地域学校協働活動の普及・啓発。
- ・各協働本部との情報交換や研修機会の確保。
- ・必要な予算の確保。
- ・(仮称)地域学校協働活動検証委員会の設置。

## 組織体制のイメージ図

### (構想図)



## 特色ある活動事例

現在は別事業や学校行事として、様々な取組が展開されている。  
 今後は地域学校協働活動の一環となることが期待されている。



名取市家庭教育支援チームによる  
 『新入学家庭教育講座』

『仕事博覧会(名取市立第二中学校)』  
 ……地域の企業・団体による事業の説明



## 活動の成果

- 学校(校長・教頭)や公民館(館長・事務長)と意見交換することで、地域学校協働本部の設置に向け、より現実的な方策が立てられた。
  - ・地域学校協働本部の設置単位・・・小学校区
  - ・コーディネーターの配置場所・・・原則的に学校
  - ・すべての市立学校区で一斉に地域学校協働本部を立ち上げるのではなく、モデル学校区として始め、3年計画で全学校区に広げる

## 今後の活動に向けて

- ・『コーディネーターを学校に配置』するケースや『公民館職員がコーディネート機能を担う』ケースなど、それぞれの地域性を生かしながら地域学校協働活動を進め、検証・改善を行うことで、よりよいネットワークの構築を図る。
- ・各地域学校協働本部で、活動目標をしっかりと定め、共有する。
- ・これまで家庭教育支援チームやPTAが実施していた家庭教育講座が、地域学校協働活動の一つとして地域住民の手によって実施されることで、地域による子育て支援につなげたい。

# ともにまなび とともにほほえみ とともにそだつ地域

市町村名		推進組織名			関係学校名						
多賀城市		多賀城中学校区学校支援地域本部 (地域学校協働本部)			多賀城小学校, 天真小学校 多賀城中学校						
		設立年度	教育委員会・担当課		関係学校学級数	児童生徒数					
		H26	生涯学習課		56学級	1,405人					
統括的な地域学校協働活動推進員数		統括的なコーディネーター数	地域学校協働活動推進員数	コーディネーター数	地域連携担当数	登録ボランティア数					
0人		0人	0人	6人	3人	登録制ではない					
活動目標	学校と家庭と地域が手を取り合い、協力しながらより良い教育環境を作っていく、「ともにまなび とともにほほえみ とともにそだつ地域」を目指す。										
【連絡先】	所在地			電話番号		FAX番号					
	〒985-8531 多賀城市中央二丁目1番1号			022-368-1141		022-309-2460					
協力企業・団体・大学・NPO等				E-mail		gakusyu@city.tagajo.miyagi.jp					
-				URL		<a href="http://www.city.tagajo.miyagi.jp/shakai/kosodate/jiogyo/renke/shien.html">http://www.city.tagajo.miyagi.jp/shakai/kosodate/jiogyo/renke/shien.html</a>					
多賀城市の概要											
人口	62,485人	割合	65歳以上	23.9%	面積	19.69km <sup>2</sup>	学校数	幼・保・こ	24園	産業等	製造業, 建設業, 運輸 通信業, 卸売り小売 業, サービス業
			15~64歳	62.6%				小学校	6校		
			0~14歳	13.5%				中学校	4校		

## これまでの経過

- 平成21年2月から多賀城小学校放課後子ども教室を開始した。市内で最も早く立ち上がった教室を、他の学校を立ち上げるためのモデルとした。
- 平成26年9月から多賀城中学校区学校支援地域本部を開始した。複数の地域コーディネーターで開始し、少しずつ連携事業を増やしている。
- 平成27年10月から天真小学校放課後子ども教室を開始した。地域コーディネーターの一人が放課後子ども教室のコーディネーターを兼務する形となっている。
- 平成29年度から、多賀城中学校区学校支援地域本部（地域学校協働本部）と名称を変更した。

## 地域学校協働活動

●学校支援活動	●家庭教育支援活動	●地域活動	●放課後子ども教室
登下校安全見守り, 読み聞かせ, やかもち鍋調理実習, 新体力テスト補助, ミシン指導補助, 裁縫指導補助, 校外学習引率, 感謝の会, 昔遊び, 部活動指導補助	家庭教育支援チームによる「おやのみちるべ」を活用した家庭教育講座	-	多小わくわく広場 105人 (自由遊び, ニュースポーツ等) 天真小わくわく広場 94人 (自由遊び, お楽しみ会等)

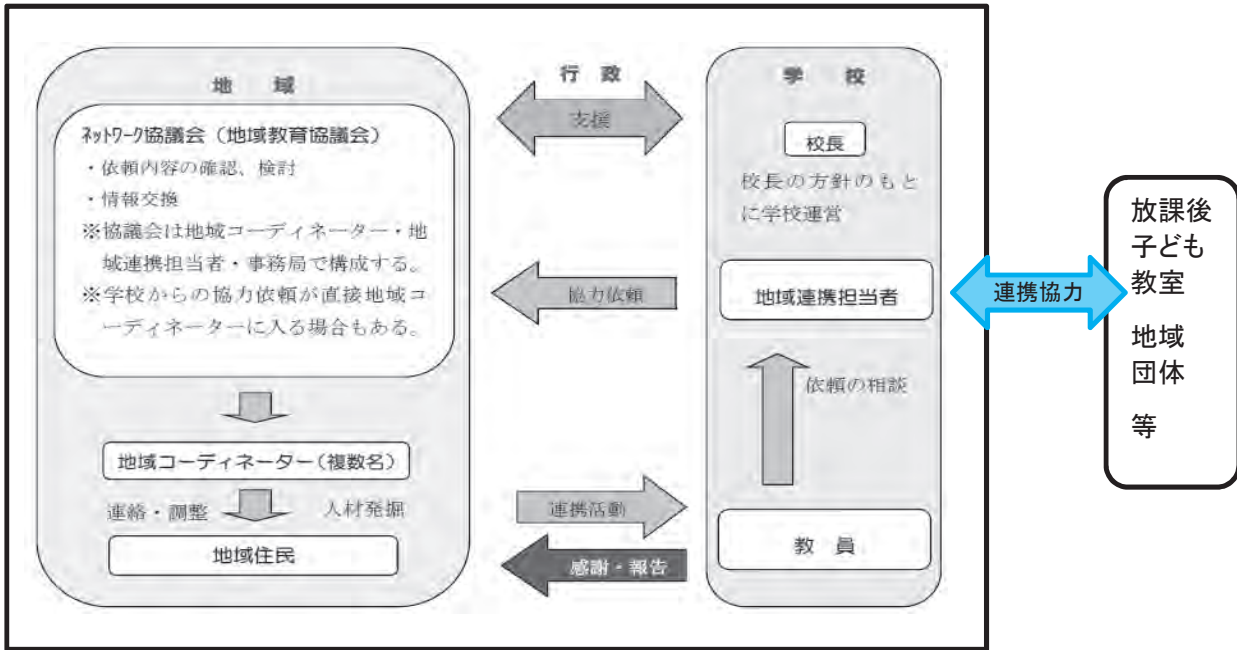
## 工夫している点

- 複数の地域コーディネーターを配置し、それぞれの人脈を活用して地域人材と学校をつなげている。
- 新規事業は打合せを密に行うが、少しずつ打合せを簡略化させることで、無理なく活動できるようにしている。
- 放課後子ども教室コーディネーターが放課後児童クラブと連携を密にして、一体型を推進している。

## 行政の支援や取組

- 学期ごとにネットワーク協議会（地域教育協議会）を開催し、計画や反省等を行っている。
- 学期ごとに「協働教育だより」や「わくわく通信」を発行し、コーディネーターやボランティアの活動を紹介することで、市民の認知度を高め、事業が推進しやすいようにしている。
- 定期的に現場訪問し、学校とボランティアのかかわり等について支援している。
- 保健福祉部と情報を共有し、放課後子ども教室と放課後児童クラブが一体型で活動できるよう支援している。

## 組織体制のイメージ図



## 特色ある活動事例

・多賀城中学校でのやかもち鍋調理実習は、「生涯学習100年構想実践委員会」が多賀城市の郷土料理として考案したメニューの調理実習で、生涯学習100年構想実践委員会が講師となり、地域住民がボランティアとして生徒の補助に入っている。中学生が大人になった時に、地域に根付いた郷土料理となることを目指している。



・多賀城小学校放課後子ども教室は、多賀城小学校放課後児童クラブと合同のイベントを実施している。今年、多賀城市レクリエーション協会に講師を依頼し、ニュースポーツを実施した。混合グループで7種目をローテーションして、スタンプラリー形式で点数を付けた。



・多賀城市家庭教育支援チーム「あんだんて」による親の学びのプログラム「おやのみちしるべ」を実施している。今年、天真小で初めて実施し、参加者の活発な意見交換がなされた。



## 活動の成果

・学校支援活動回数が平成29年度には100回を超え、117回となった。平成30年度は12月末で114回となっていて、今年度の実績は更に伸びている。また、延べボランティア数は平成29年度で604名、平成30年度12月末で595名となっていて、学校にかかわる地域住民が増えている。

・毎年実施している連携事業については、複数年経験しているボランティアが増えている。支援の仕方がより効果的になってきている。また、ボランティアにとっても、毎年楽しみにしてくださっていることが分かった。

## 今後の活動に向けて

・地域コーディネーターの人脈を活用して事業を推進しているので、少しずつ広がってきた人脈が更に広がるようにしていくと同時に、地域コーディネーターの負担が大きくなりすぎないような配慮が必要になってくる。

・放課後子ども教室においては、放課後児童クラブとの連絡調整、情報共有を密にし、子どもたちのより良い活動拠点作りを推進していく。

・上記2点を実現するために、今後地域団体等とのつながりを広げていき、より良い学校支援地域本部（地域学校協働本部）の在り方を探っていく。

## これから着手する予定

市町村名		推進組織名			関係学校名						
岩沼市		-			-						
		設立年度	教育委員会・担当課		関係学校学級数	児童生徒数					
-		-		-		-					
統括的な地域学校協働活動推進員数		統括的なコーディネーター数	地域学校協働活動推進員数	コーディネーター数	地域連携担当数	登録ボランティア数					
0人		0人	0人	0人	8人	0人					
活動目標		-									
【連絡先】		所在地			電話番号	FAX番号					
		〒989-2480 岩沼市桜一丁目6番20号			0223-22-1111	0223-24-0897					
協力企業・団体・大学・NPO等				E-mail	<a href="mailto:kyouiku@city.iwanuma.lg.jp">kyouiku@city.iwanuma.lg.jp</a>						
岩沼市家庭教育支援チーム, 岩沼市子ども会育成連合会, 各社会教育団体, 健やかな子どもを育てる岩沼市民会議 等				URL	<a href="http://www.city.iwanuma.miyagi.jp">www.city.iwanuma.miyagi.jp</a>						
岩沼市の概要											
人口	44,221人	割合	65歳以上	25.0%	面積	60.45km <sup>2</sup>	学校数	幼・保・こ	18園	産業等	農業, 製造業, 建設業, 加工業, 小売業, 観光 等
			15~64歳	61.0%				小学校	4校		
			0~14歳	14.0%				中学校	4校		

### これまでの経過

- 平成19年, 子育てに関する関係団体の代表者により「岩沼市子どもの居場所づくり運営委員会」を設置し, 「岩沼市放課後子ども教室(のびやか教室)」をスタートした。「岩沼市子どもの居場所づくり運営委員会」は, 各地区子ども会育成会長, 岩沼市家庭教育支援チーム「ほっぺの会」会長, 岩沼市社会福祉協議会事務局長, 岩沼市父母教師会連合会長, 各小学校教頭, 子ども福祉課長, 生涯学習課長で構成されており, 様々な情報交換が行われている。
- 平成30年度に地域連携担当の先生方が手軽に情報交換ができるよう, 公務用パソコンのネットワークを整理した。

### 地域学校協働活動

●学校支援活動	●家庭教育支援活動	●地域活動	●放課後子ども教室
安全見守り, 学習支援活動, 地域理解, 読み聞かせ, 学校行事支援, 環境整備, 防災・減災活動, 職場体験・キャリア教育, 自然体験, 世代間交流, あいさつ運動, 部活動指導, その他	家庭教育講座「子育て・親子講座」, 家庭教育支援チームによる幼・小・中における「親の学びのプログラム」, happyチャイルドカレンダーの発行	インリーダー研修会, 岩沼市ジュニア・リーダー協議会主催「子ども合宿」, 防災キャンプ, 子ども110番の家ウォークラリー	東部のびやか教室 33人 西部のびやか教室 45人 南部のびやか教室 29人 北部のびやか教室 26人 (伝統文化体験, 読み聞かせ, スポーツ 等)

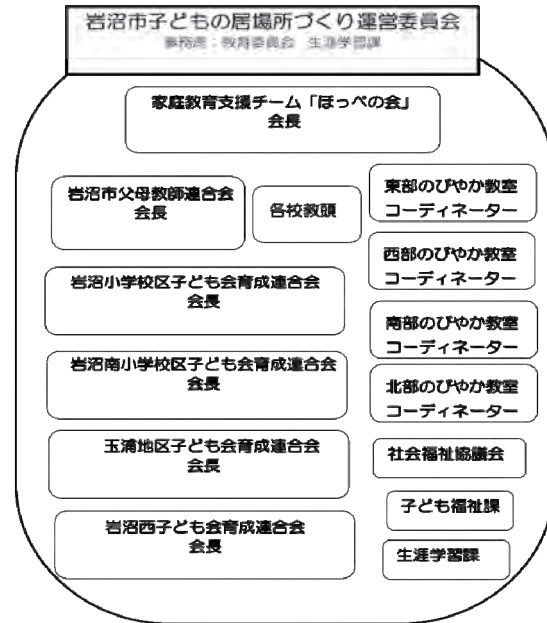
### 工夫している点

- ボランティアの方々には, 各活動(学校支援活動・家庭教育支援活動・地域活動・放課後子ども教室)の一つだけでなく, 複数の活動へ協力してもらえるように紹介をしている。
- 放課後子ども教室では, 各教室のコーディネーターが集まり, 情報交換ができる機会を月に一度設けている。また, 学校教育課との連携を図り, 学習支援の充実に努めている。

### 行政の支援や取組

- 社会教育主事の助言  
各活動(学校支援活動・家庭教育支援活動・地域活動・放課後子ども教室)において, 社会教育主事が企画・運営に対して助言できる体制を整えている。
- 他課との連携  
地域学校協働活動をより推進させていくために, 他課と連携を図ることで, 活動される方々へのサポートを多方面から行える体制を整えている。

【岩沼市子どもの居場所づくり運営委員会】  
 岩沼市放課後子ども教室の企画・運営、評価・検証を行う組織。



特色ある活動事例



【ボランティアによる里山体験学習の様子】



【岩沼市家庭教育支援チームによる「子育て・親子講座」の様子】



【子ども会育成会と協働で開催した防災キャンプの様子】



【合同のびやか教室「親子で作ろう！しめなわづくり」の様子】

活動の成果

【学校支援活動】各校において、地域連携担当を中心として、地域と連携した取組を実施し、児童生徒の郷土に対する愛着形生や地域住民の生きがいがいづくりにつながった。

【家庭教育支援活動】岩沼市家庭教育支援チームや大学教授等の専門家による講座を通して、子育てに悩みを抱えている保護者の不安解消や保護者同士の新たな人間関係づくりにつなげることができた。

【地域活動】防災キャンプでは、参加者や連携団体が年々増加しており、地域に密着した防災キャンプが形作られてきている。

【放課後子ども教室】参加児童や保護者からは、「参加してとても楽しかった」「子どもが家でのびやか教室の楽しかった事を話してくれる」との意見が多く聞かれる。また、ボランティアからは「子供たちと一緒に活動することで、元気がもらえる」といった意見が多く聞かれる等、世代間交流の効果も大きい。

今後の活動に向けて

・本市では、学校や家庭、地域、行政が連携した取組を継続して実践してきた。子供たちを取り巻く関係団体が手を取り協力していくことが、子供たちの健やかな成長にとって、とても重要であることは言うまでもない。今後、より効果的な「地域学校協働活動」を推進していくためには、それぞれの関係者が情報を共有し、様々な活動を実現できる「地域学校協働本部」の整備が必要である。その本部は、本市の実状に照らし合わせて設置されることが重要であり、「無理なく、持続可能な組織づくり」を進めていきたいと考える。